

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月27日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島市伊敷5丁目9番8号

氏 名 株式会社 植村組

代表取締役 植村 一

電話番号 0996-22-3131 担当：井上

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 植村組
事業場の所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷5丁目9番8号
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 一般土木建築工事業
② 事業の規模	前年度完工高 107億円
③ 従業員数	236人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1, 産業廃棄物処理工程

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2 産業廃棄物に係わる管理体制

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表
	排出量	別紙 内訳表【A】
	(これまでに実施した取組) 施工ミスによる廃棄物の発生を招かない様、施工管理を徹底した。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表
	排出量	別紙 内訳表【B】
	(今後実施する予定の取組) 受注内容によっては、計画値に変化が生ずると思われるが、前年度に増して、施工管理を充分行い、廃棄物の発生を抑えるよう努力する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート・アスファルトから 重機による解体、分別を行い、リサイクル処理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 型枠材・木材 解体分別による再利用を高め、廃棄物においてはリサイクルしやすい形で排出する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】
	産業廃棄物の種類 別紙 内訳表
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 別紙 内訳表【C】
	（これまでに実施した取組） 自社で産業廃棄物の再生利用はしていない。
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類 別紙 内訳表
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 別紙 内訳表【D】
	（今後実施する予定の取組） 木材：型枠材は、解体分別時に利用可能なものは仕分けしてリサイクルを行う。
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】
	産業廃棄物の種類 別紙 内訳表
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 別紙 内訳表【E】
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 別紙 内訳表【F】
②計画	（これまでに実施した取組） 自社で中間処理は、実施していない。
	【目標】
	産業廃棄物の種類 別紙 内訳表
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 別紙 内訳表【G】
②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 別紙 内訳表【H】
	（今後実施する予定の取組） 今後も自社での中間処理は、行わない。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙 内訳表【I】
	(これまでに実施した取組) 自社で埋立処分又は、海洋投入処分は実施していない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙 内訳表【J】
	(今後実施する予定の取組) 今後も埋立処分又は、海洋投入処分は行わない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表
	全処理委託量	別紙 内訳表【K】
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙 内訳表【L】
	再生利用業者への処理委託量	別紙 内訳表【M】
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙 内訳表【N】
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙 内訳表【O】
	(これまでに実施した取組) アスファルト・コンクリートがら： 再生資源利用できる中間処理場に搬出している。  木くず： 焼却する場合、中間処理（減量）し、焼却灰は最終処分へ搬出する。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表
	全処理委託量	別紙 内訳表【P】
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙 内訳表【Q】
	再生利用業者への 処理委託量	別紙 内訳表【R】
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙 内訳表【S】
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙 内訳表【T】
	(今後実施する予定の取組)	
今後、中間処理業または、再生利用業者の中で優良認定処理業 の登録が確認できた場合は、登録業者への委託を検討する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

